

教養ゼミ（柔道整復師コース）		教授 西川 彰 講師 小向 啓介 講師 山本 雅貴	
科目カテゴリー	柔道整復師コースの必修科目	科目ナンバリング	12130201

1. ゼミのねらい・概要

大学の授業は、学生各自が興味のある科目を選んで履修することが多くなるが、その中で2年次の必修科目である教養ゼミは、ホームルームにあたるものとして位置づけることができる。この授業では、柔道整復師コースの学生を対象に、将来の資格取得に向けた基礎的な学習指導およびキャリア指導等を実施し、2年次での大学生活全般をサポートする。2年次は1年次での学習習慣を踏襲しつつも、3年次以降に予定されている「国家試験対策」「卒業研究」「臨床実習」といった科目への橋渡しとなるような内容にも取り組んでいく。主として、1年次と同様の基礎学力の充実のための「学習支援講座」を実施しながら、医療現場やスポーツ現場における実習に参加するための「臨床実習講座」、一つのテーマに基づいて様々な学術論文の内容を検討し、まとめたものを発表する「研究発表講座」にも取り組んでいく。また、担当する教員はクラス担任としてゼミを運営し、必要に応じて学生への個別面談も行なう。

2. ゼミ計画

1. ガイダンス、履修指導（前期）	8. 履修指導（後期）
2. 臨床実習講座①（実習参加の準備、見学実習）	9. 研究発表講座①（課題の決定、資料準備）
3. キャリアアップのための指導①（全体ゼミ）	10. キャリアアップのための指導②（全体ゼミ）
4. 学習支援講座①（解剖学）	11. 学習支援講座④（解剖学）
5. 学習支援講座②（生理学）	12. 学習支援講座⑤（生理学）
6. 学習支援講座③（柔道整復学）	13. 学習支援講座⑥（柔道整復学）
7. 臨床実習講座②（実習日誌の作成と口頭発表）	14. キャリアアップのための指導③（全体ゼミ）
	15. 研究発表講座②（スライドの作成と口頭発表）

* 1. ～15. の順番については、全体ゼミに外部講師をお願いする場合があること、また、担当教員の専門分野により講義内容に独自性があることから変更となることもある。

3. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

臨床実習講座における実習見学後の実習日誌および研究発表講座における発表スライドについては事前に作成したものを提出すること。また、学習支援講座で実施する小テストについてはテキストの指定範囲の予習を行った上でテストに臨むこと（各1時間程度）。

4. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

口頭発表については個々の発表内容に対して講評を行う。また、小テストについては口頭での正答の発表と解説を実施する。

5. ゼミにおける学修の到達目標

本授業では、見学実習を通しての実習日誌の作成や研究発表に必要なスライドの作成およびそれらを口頭で発表するプレゼンテーション能力の習得を目標とする。加えて、国家試験で出題される主要科目（解剖学、生理学、柔道整復学）に関する基礎学力の向上も目指す。

6. 成績評価の方法・基準

実習見学における実習日誌（20%）、研究内容に関する口頭発表（20%）並びに定期試験（期末試験）の結果（60%）の3項目より総合的に評価する。

7. テキスト・参考文献

野村巖 監修／西川彰、小林直行 著、『解剖学ワークブック』、医歯薬出版、2014年

目崎登 監修／西川彰, 小林直行 著, 『生理学ワークブック』, 医歯薬出版, 2012 年
目崎登 監修／小林直行 編, 『運動器疾患ワークブック』, 医歯薬出版, 2012 年
その他の参考資料は, 必要に応じて授業中に紹介または配布する。

8. 受講上の留意事項

毎回の授業時にはテキストおよび配布資料を必ず持参すること。
講義回数の3分の1以上を欠席した場合は不合格とする。

9. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当する。本ゼミは, 接骨院での臨床経験を活かして指導する。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。